

会長	副会長	幹事長	局長	次長	主 幹	係長	主係

## 第2回神崎町・大河内町合併協議会 新町町章選定委員会会議録 (第9回新町名称・庁舎等検討小委員会)

開会日時 平成17年7月22日(金) 午後1時30分

場 所 神崎町ケーブルテレビネットワーク局舎

神崎町・大河内町合併協議会

## 神崎町・大河内町合併協議会新町町章選定委員会委員名簿

小委員会（新町名称・庁舎等検討小委員会）

協議会委員関係分

	氏 名	出 欠
1	松 原 博 興	出
2	正 城 眞佐子	出
3	藤 原 博 一	出
4	竹 國 洋 子	出
5	生 田 良 昭	出
6	足 立 高 正	出
7	立 石 富 章	出
8	中 塚 義 之	出
9	小 寺 義 裕	出
10	多 田 昌	出

会 議 録

会議の名称	神崎町・大河内町合併協議会新町町章選定委員会	
開催日時	平成17年 7月22日(金) 開会 13時30分 閉会 16時09分	
開催場所	神崎町ケーブルテレビネットワーク局舎	
議長氏名	立石富章	
出席者氏名	別紙「出席者名簿」のとおり	
欠席者氏名	別紙「欠席者名簿」のとおり	
会議事項	1 報告 新町町章応募状況について 2 協議 (1) 新町町章の選定方法について (2) 第1次選定について	2 会議結果
会議の経過	別添のとおり	
会議資料	別添資料あり	

会 議 経 過

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
内藤（事務局長）	<p>皆さん、こんにちは。</p> <p>ご苦勞さまでございます。本当に真夏日で最も暑い時期でございますが、そういった中で、何かとご予定あったかと思えますけれども、お繰り合わせの上ご出席いただきまして、まことにありがとうございます。</p> <p>会議に先立ちまして、立石委員長さんからごあいさつを初めにお願いしたいと思います。</p>
立石（委員長）	<p>皆さん、こんにちは。</p> <p>大変暑いときに、しかもそれぞれお仕事をお持ちの皆さん方、万障繰り合わせて全員出席いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>さて、今日は第2回目の委員会ということでございます。第1回目につきましては、町章の募集要領についていろいろご検討いただき、おかげさまで既に締め切りをして、当初をはるかに上回る八百三十数点という、事務局にとっては非常にうれし悲しいような、たくさんの応募をいただいております。</p> <p>今日は、そういったことで、この八百数十件の選定をしていただくわけですが、今日の予定といたしましては、まず1次選考ということではかなりの量をふるいにかけて、こういう大きな作業をやらなければなりません。それをするために、ひとつこの会場でもって選考の方法の具体的なことについて皆さんにご協議をいただくと、こういう段取りにいたしておりますので、非常に暑いときですがひとつよろしくお願いしたいと思います。</p> <p>なお、前回にも申し上げておりましたように、この作業が終了しますと、暑気取りということで懇親会を予定いたしておりますので、これもひとつ全員の皆さん参加いただけたらありがたいなと、こういうふうに思っております。どうも本日はご苦勞さんでございます。</p>
内藤（事務局長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日も、両町長にご出席いただいております。</p> <p>そこで、一言ずつごあいさつをいただきたいと思えますので、まず足立会長の方からお願いしたいと思います。</p>
足立（会長）	<p>それでは、皆さん、こんにちは。</p> <p>一言お礼を申し上げたいと思えます。</p> <p>本当に暑い時期になってまいりました。皆さん方におかれましては、それぞれ公務等ご多用の中と思えますけれども、今日はお繰り合わせご出席をいただきましてこの委員会に参加をしていただきますことに対し、心から感謝とお礼を申し上げたいと思えます。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
<p>内藤（事務局長）</p> <p>上野（副会長）</p>	<p>なおまた、合併につきましてはいろいろとご苦勞をいただきまして、今、町といたしましても合併事務局を中心に、またすべての職員が一つになりましてその準備を行っておるところでございます。早いもので、11月には、もうすぐというようなところに立ってきております。若干焦燥感もあるのではないかなというふうに思うところでございます。</p> <p>ところで、町のいわゆるイメージを決めるという非常に大事な町章の選定委員会が、心配をいたしておりましたけれども、たくさんの800通を超える応募があったということで、これからまた選定ということで大変難事業、難作業があるわけでございますけれども、皆さん方に大変申しわけない話と思っておりますけれども、何とか頑張ってくださいまして、神河町にふさわしいすばらしい町章を決定していただくことができれば、選定をしていただくことができれば大変ありがたい、このように思うわけでございます。</p> <p>会場の方は、何か体育館を予定しておるようでございますが、まさに今日は酷暑というふうな状況でございますので、十分休憩をとりながら作業を行っていただいたらどうかなというふうに思っております。</p> <p>いずれにいたしましても、この会議ではその選定作業の方法等につきましてご議論いただくように予定しています。どうぞよろしくお願い申し上げたいと思います。</p> <p>合併に至る問題、そしてまた町章選定に至る問題等々で皆さん方にご苦勞をおかけすることに対しまして、重ねて感謝とお礼を申し上げまして、一言のごあいさつとさせていただきます。ありがとうございます。</p> <p>続きまして、上野副会長、お願いします。</p> <p>大変ご苦勞さまです。</p> <p>足立町長からあいさつがありましたので、重複を避けさせていただいて、私、先日の日曜日に、今日の資料についております朝来市の誕生記念式典並びに香美町の誕生式典に参加をしましてまいりましたので、そのときに町章の発表なり表彰がありましたので、そのことをご報告をさせていただいてあいさつにかえさせていただきたいというふうに思います。</p> <p>朝来市のこの市章については、約2,000点ぐらいの中から選ばれて、このイメージは朝来町の朝、朝日をイメージをして、まず図案を書かれたということで、そして自然と緑、そして人、触れ合いとい</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
<p>内藤（事務局長）</p> <p>立石（委員長）</p> <p>浅田（事務局）</p>	<p>うことで、上のほのおのような4点については旧4町の表現らしいです。そして、山と緑という形、朝日という形で書かれているようです。</p> <p>それから、香美町につきましては、旧美方町、村岡町、そして香住町ということで、山から矢田川が流れて海までで、一町で、山、川、そして海という自然を持っているということで、その表現を、また香美町の片仮名のカとミ、これを図案化をして、山と川と海というように表現をされているようです。昭和の合併の昭和30年の前後でしたら本当に白黒、黒表示というのでありましたけども、平成の合併においてはやはり未来とか、あるいは希望とか、そういうふうなイメージを導入をしたような町章になっているのではないかなというふうに思います。</p> <p>ただ、非常にきれいですけども、これを今度実用化するときには、封筒に印刷をすれば4色刷りになって非常に高くつくという、こういうことも一方ではあるんかなというふうに思います。しかし、新町誕生に向けて夢や希望が感じられる、そういうふうな町章にそれぞれなっているのではないかなというふうに思います。</p> <p>それから、若干合併のことで言いましたら、新町の組織・機構、人事というものも内定をいたしましたので、あとは11月7日に向けて精力的に事務をこなしていける状態となっておりますことをご報告させていただいて、ごあいさつとさせていただきます。本日は大変ご苦労さまです。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、早速でございますが、委員長、議事進行をよろしく願いたいいたします。</p> <p>それでは、委員会規程によりまして、ただいまから議事を進めてまいります。</p> <p>本日は委員10名中10名全員の出席をいただいておりますので、定足数に達し、会議が成立していることを申し上げます。</p> <p>恒例に従いまして、これからは発言の際にはご面倒でも町名とお名前をよろしく願いたいいたします。</p> <p>それでは、既にご案内のレジュメに従いまして、まず報告事項を事務局の方からお願いしたいと思います。</p> <p>ご苦労さまです。</p> <p>それでは、資料、本日配付をさせていただいております次第の方を見ていただければというふうに思います。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>1枚めくっていただきまして、新町の町章募集の結果ということでまとめさせていただいております。</p> <p>去る5月20日にこの場で募集要領等をお決めいただき、6月1日から7月8日まで1カ月余りの期間、公募をかけました。</p> <p>当初、本当に1週間、2週間たっても数件といった形での応募しかございませんで、大変事務局としましても心配をいたしておりました。しかしながら、最後の1週間、10日余りですけれども、物すごい数で全国から来るような形になりました。</p> <p>そして、その数、総数が834作品、後ほど選定の方に行ってくださいます神崎中学校の体育館の方に834の作品を並べさせていただいておる状況でございます。834作品の応募の人数ですけれども、今回につきましては応募作品1人で複数可とするということでしたので、応募人数は472名の方から応募をいただきました。</p> <p>地区別に見てみますと、まず両町、神崎町では76人、大河内では178人の方に応募をいただきました。</p> <p>そして、この神崎、大河内を除く他の市町、兵庫県内からは32名、そして兵庫県外の方から186名ということで、472名の方から応募をいただきました。</p> <p>都道府県別に見ますと、北海道から沖縄まで、基本的にいただいておりますけれども、兵庫県を含めると38都道府県の方からこういう作品をいただいております。特に、愛知、大阪、神奈川、東京、福岡、このあたりが二けたになるような数で応募をいただいております。</p> <p>右側の方では県内の内訳ということで、朝来市から夢前町まで32名の方の内訳を書かせていただいております。</p> <p>そして、男女別に見てみますと、男性の方が圧倒的に多くて327名の方、女性が145名という内訳になっております。</p> <p>年齢別を見てみますと、10代未満3名ということで、一番下は7歳の子供さんから、80歳代は高齢の86歳と言われる方まで、幅広くいただいております。特に、10代ということで、将来の神河を担っていただきます両町の中学生がたくさん応募をいただいておりますので、事務局の勝手な願いかもわかりませんが、中には、大変プロ的な作品が多いんですけれども、中学生が一生懸命自分の鉛筆と書いて、手書きで新しい神河のことも考えて作品を出しておりますので、そのあたりにもどうか目をとどめてやっていただければなということで事務局からお願いをしておきます。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
立石（委員長）	<p>以上、この応募につきましては834作品、472名の方から応募をいただいたということで、この状況について報告を終わらせていただきます。以上でございます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま報告をいただいた応募結果につきまして、何かこの際お尋ねの件がございましたら、遠慮せずにひとつ言うてください。</p> <p>ただいまの報告について特にございませんか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
立石（委員長）	<p>ないようでございます。</p> <p>それでは、報告事項をこれで終わりにして、次に協議事項にまいりたいと思います。</p> <p>まず、事務局に一応たたき台としての案を作っていたいておりますので、これについて説明を受けてご検討いただくという順序で進めてまいりたいと思いますが、それまでに、1回目の委員会でも皆さんからご意見が出ておりましたように、我々10名だけでもって選考するというのはちょっと荷が重過ぎるんでないかといったご意見、またできるだけ大勢の目で選考していくというような話もございました。そんなことも含めた案を作っておりますので、あらかじめ含んでいただいて、ただいまから事務局の説明をしていただきます。</p> <p>事務局。</p>
浅田（事務局）	<p>それでは、町章の選定方法の（案）ということで、先ほど委員長のごあいさつにもございましたように、あらかじめ事務局の方で案ということで想定をさせていただいておりますので、この場でご議論いただきまして、よりいい形で選定できるような方法ということでお願いできればと思っております。</p> <p>まず、右側の3ページの方に、これが体育館に作品を並べております順序でございます。</p> <p>作品展示及び選考順路ということで、1から14まで並べさせていただきますので、この14につきましてはただいまから申し上げますことをお願いしたいと思います。</p> <p>まず、選定委員ですけれども、本日のこの町章の選定委員会の委員さん10名、それと5月20日の第1回の委員会をお願いを申し上げました、この町章につきましては特に神河町の職員がバッジをつけますので、そういった意味も含めまして両町の職員、男性、女性1名ずつ、こういった技術的なデザインといいますが、そういうセンスのある職員を男性1人ずつ、女性1人ずつお願いをして、計4名お願いで</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>           できればなという思いをいたしております。これも案でございますので、委員の皆様方の方で、いや、10名で決めるということでしたら、それでもよろしいかと思いますが、事務局としましては職員の方にも少し参画をいただければなという思いで上げさせていただいております。         </p> <p>           そして、この委員の方々が右側の図の1から14までに作品が60作品ずつ並んでおりますので、その中から見ていただくという形になります。したがって、全部見ていただきますのには相当の時間がかかるということで、ひとつご理解をお願いしたいと思います。         </p> <p>           次に、選定の方法ですけれども、私どもの方では1次選定から4次選定まで、いわゆる合併協議会で最終的に、前回の名称と同様に投票により町章を決定いただく用意をいたしておりますけれども、この当委員会では合併協議会に上げます最終ノミネート作品5作品ということで、そこまでの作業をお願いしたいというところでございます。         </p> <p>           まず、この後、第1次の選定を行っていただくんですけれども、右側のように大変多くの作品が並んでおります。そういった中で、それぞれその作品を描かれております趣旨、例えば神河というイメージはどんなイメージなんだろうといったところで、そういう趣旨を書いていただいておりますので、その作品を一つずつ読んでいただきますと相当の時間を要してまいります。したがって、事務局といたしましては、まず歩いて見ていただく中で、直感的にこの作品を残しておきたいといったものにつきまして附せんといいますが、目印になるようなものをおつけいただくという方法はどうかと。まず、直感的にこの作品を残していればどうかというものを選んでいただく。その数を決めるのかどうかということは、また後ほどご議論いただいて、まず直感的に834点の中から約半分ぐらいを目指して第1次に絞っていくのか、そのあたりも少しご議論いただければなというふうに思います。         </p> <p>           そして、その作品、一応印をつけていただいたものを、どれぐらいの数が残るかわかりませんが、次に、再度、今度は1人10点とか20点とか30点とかという形で印をもちまして重複してもいい作品のやつを選考するといった形で、ある程度数を絞り込んでいければなというふうに考えております。         </p> <p>           ここで、2次選定で選定、30から70、そして3次選定で選定数10作品と、こう書いておりますけれども、このあたりも第1次選定である程度絞り込みができるようでしたら2次選定、3次選定のとこ         </p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
立石（委員長）	<p>るを2次選定という形で50から70ぐらいまで、本日時間が許しますと、絞り込んでいただければなというふうに思っております。</p> <p>そして、70ぐらいですと、残りましたものを印刷をいたしまして各委員さんにお配りをするのが可能かなというふうに思います。後日、残りました作品を印刷して各委員さんに配付をしていただいて、次回の絞り込みまでに検討をいただくという作業が可能かなというふうに思っております。</p> <p>当初は、834の作品をすべて印刷をして事前に見ていただくのが一番いいかなと思ったんですけども、余りにも膨大な枚数になってしまいますので、本日いきなり見ていただくという形になってまいろうかと思っております。</p> <p>そういったところで、この第1次選定的なもので印をして残していくのに、まず数を決めるのか、いや、直感的にある程度残したいものを残していくのか、そのあたりも含めて当委員会の方で一定の方針を出していただければどうかなというふうに思っております。</p> <p>したがって、こちらの方では案といたしまして、こう持っておりますけれども、少しその辺ご議論いただいて、一つの方針を見出していただければなというふうに思っております。</p> <p>そして、ある程度、この3次と書いておりますところで10作品ほどのノミネートといいますか、残りました作品あたりになってきましたところで、専門的な意見ということで、例えば両町にございます神崎高校の美術の先生とか、両町の中学の美術の先生とか、そういった方にも少し見ていただいてアドバイスを受けるといったことも取り入れればどうかなというふうな考えも持っております。</p> <p>その辺も合わせ持って、ひとつこの選定に係ります方向性を出していただければなというふうに考えております。</p> <p>以上でございます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま選定の方法についての事務局からの案ということで、一応流した説明をしていただきました。</p> <p>まず、協議いただきたい1点目は、選定委員我々10名プラス職員の中から4名と、両町から2名ずつと、こういう提案がございました。</p> <p>このことについて、皆様のご意見を伺いたいと思います。</p> <p>何かご意見等ございますか。</p> <p>私の方からちょっと聞くんですけど、この両町から2名というのは2</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
浅田（事務局）	<p>次選定以降に参加してもらおうと、こういうふうに理解したらいいんかいね。</p> <p>いえ、この本日のこの場で、この協議で上げておりますものでオーケーがとれれば、本日、両町、事前に選考してますので、電話して、委員がオーケーになりましたんで委員として参画をいただきたいということで連絡をする予定にはしております。したがって、当委員会で、いや、10名でやるということが決まりましたら、その話はそれで終わったということでご理解をお願いしたいと思います。</p>
立石（委員長）	<p>職員が入ってきていただくというのは、事前に待機させておると。だから、この委員会でもってオーケーが出れば、直ちに呼んでもらう、こういうところまで実は裏舞台はできとるようでございますんで、そこらも含めて、いや、もうわしただけでやるんだということだったら、それでもよろしいし、ここのひとつ意見を十分聞かせてくれたらなと思います。</p> <p>どうぞ、小寺委員。</p>
小寺委員	<p>大河内の小寺ですけど、職員の方、両町から2名ということなんだけれども、今の説明ですと男女各1名ずつということで合計2名。そうすると、その職員さんの選定基準というのか、いうことはたくさんある中で男子が1名、女子が1名ということだから、選定基準というのはどういうことで選ばれる予定をされとるのかな。年代別でいかれるのか、勤続別でいかれるのか、それともある程度デザインにすぐれた才能を持つてる人がいるだとか、この前出とったのはもう少しこういうデザイン等に学識的な経験がある方を何名かプラスしたらというふうな、この前の委員会で出とったと思うんですけども、今回出てきたのは職員ということなんで、特にそこらの選定、そこらの基準というのはどういう考えでここに書いておられるのか、そこらをちょっと聞かせていただきたいと思います。</p>
立石（委員長）	事務局。
浅田（事務局）	<p>小寺委員さんの方からご質問のありました職員の選出につきましては、私ども事務局内部で考えますのに、特にこのデザインが、1つは、神河町の新しく生まれる職員の町章がバッジとして使われるということでございます。それから、いろいろデザインが出ておるんですけども、町旗、それから封筒のデザイン、そういったものに使われる際に、やはりこれまで行政の中で携わってきております職員の中から、特にイベントとかいろんなものに参画をし、いろいろこういう業務に携わったことのある、またそういう少し技術的といいますか、デ</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
立石（委員長）	<p>ザイン的な感覚のセンスのある方を一つの基準として両町で1名ずつ、現行ですと大河内ではまちづくり課、神崎では企画振興課といったところの職員さんに、現在は事前のお願いをしておるという状況でございます。</p>
立石（委員長）	<p>それと、後段に言われた専門家を入れるというのはもうちょっとどの段階ぐらいから入ってもらう、これも説明してください。</p>
浅田（事務局）	<p>美術の先生等の専門家につきましては、3次選定ぐらいの10作品ぐらいになった時点でお願いをしていきたいなというふうに考えておりますけど。</p>
立石（委員長）	<p>よろしいですか、小寺委員。</p>
小寺委員	<p>どうぞ、小寺委員。</p>
小寺委員	<p>大河内、小寺ですけど、今のお答えですと、まちづくりだから企画課という話で、私たちは、それは入ってもらうのは非常にありがたいと思うんですけども、選考された中身の中で、非常にたくさんの職員がおられとる中での2名やから、私ら何も知らんうちにあの人が2人なっとなったというようなことだけはないようにしていただければ、私たちは構わないと思うんですが。</p>
立石（委員長）	<p>そこらの配慮はどうか、事務局。</p>
浅田（事務局）	<p>全職員にそういう周知の上で公募をかけたということはいたしておりません。こういう選定委員会があるんで、職員みずから立候補して行動とられるような情報を流してしたということはいたしておりません。ある程度こちらの方で絞り込んだ形で、事務局からお願いしたという経緯でございます。ですから、全職員には周知をいたしておりません。</p>
立石（委員長）	<p>ただいま小寺委員の質問に対しては、今お答えになった状況のとおりでございます。</p>
立石（委員長）	<p>ほかにご意見ございませんか。</p>
立石（委員長）	<p>どうぞ。</p>
生田委員	<p>大河内の生田です。</p>
生田委員	<p>この4名の方の年齢構成をちょっと教えてもらえます。</p>
浅田（事務局）	<p>まず、神崎町の方は、男性が企画振興課の係長で47歳、特にまちづくり、神崎町のいろんなイベント関係を含めて担当されとる方、それから女性が年齢はちょっと、33歳で今年神崎、大河内で国際交流のJICAとか、それから神崎町の桃園とか、いろんなオーナー制度を担当されておる女性の方、大河内の方は、まちづくり課の方で第三セクターとかホテルとか、そういう関係の特にデザイン関係を担当し</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
立石（委員長）	<p>ておる担当で課長補佐で46、女性が同じくまちづくり課でいわゆるハード、道路とか林道とか、そういう技術的な女性職員で二十六、七、八の女性でございます。</p> <p>以上4名なんですけど。</p> <p>ほかにご意見、質疑ございませんか。</p> <p>どうぞ、多田委員。</p>
多田委員	<p>職員の方4名というのは、これは特に問題ないと思う。それに、町長が一応了解されとるという形にさせていただいて、職員と小委員会の10名でよいのでは。</p> <p>選定の方法として、具体的にちょっとお聞きします。一つ一つそれぞれ委員が見て、それにええと思うものに印つけると。</p> <p>私が思ったんは、そうじゃなしに、各委員が、ちょっと時間かかるかもしれないけど、やはり応募していただいた方々それぞれの思いで応募していただいたというようなことを大事にするのであれば、全員が一つずつ見ながら、これはもう、これはいけません、これはちょっと残ろうかというふうな形でいったらどうかかなという、ちょっと時間かかり過ぎるかなという思いがせんでもない。</p>
立石（委員長）	<p>なるほどね。</p> <p>ちょっと、その選定の具体的な方法は次の段階で、今言われたご意見ちょっと後回しにさせてもうて、選定委員の件について、再度。</p>
浅田（事務局）	<p>多田委員さんの方から両町長の了解ということで、去る7月12日にこの合併につきましては両町長会議を、特に今回新町の職員内示とかいろいろ問題がございまして、たびたび町長会議をいただいております。その際に、7月12日の町長会議の際に、両町長さんにもひとつこの選定委員の方にお加わりをいただけないかなということで事務局としては提案をさせていただきました。そういった中で、町長の方からは、一応辞退をされるといいますか、町長自身も大河内町長の方もこの作品に応募をいただいておりますので、応募いただいた、応募した者がなかなかそういうものはできないということで、両町長は今回外しておるという状況でございます。</p> <p>その際に、職員の参画といったことにつきましてはご説明をさせていただいて、ご了承いただいたというふうに思っております。</p>
立石（委員長）	<p>という状況でございます。</p> <p>ほかにご意見、質疑ございませんか。</p> <p>どうぞ、正城さん。</p>
正城委員	<p>大河内の正城です。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
立石（委員長）	<p>ここに書いてあるように委員10名と職員4名で、それで一応決めたらいいんじゃないかと私は思います。</p> <p>私らでも、素人の、ど素人の何もそんな知らない者が加わってしていることですし、やはり見た目というところにしては、だれが見ても案外いいんじゃないかという、そういう直感があると思うんですね。ですから、先ほどから専門家専門家とか、そういうふうではなくて、職員さんにそうしていただけたらいいんじゃないかと思しますので、いいと思います。</p> <p>ほかに特にございませんか。</p> <p>それぞれ質疑なり、あるいは一部ご意見を受けまして、選定委員について、今提案されておる委員10名プラス職員4名ということで選考をしていくということに特にご異議ございませんか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
立石（委員長）	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、本日の作業から4名が加わってやっていただく。これは私も事前に聞くところによると、実は職員を入れるという行為そのものは後々何十年間にわたって町章というものを大事にしながら、いろんな印刷物あるいは毎日つける町章、襟章、そういったことに非常に密接にかかわってくるので、いわゆる毎日使う人たちの事務サイドから見た経費の面であるとか、そういうことも考えながらいかがなものかというような、どうも発想があったやに聞いております。</p> <p>そういう思いの中で、我々も協力していただいたらありがたいなというふうに思ってます。</p> <p>それでは、選定委員は今ご確認いただいたような方法でやっていきたいと思えます。事務方、よろしく連絡なり、職員の参加をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、次の一番大事なことなんですが、選定の方法。</p> <p>早速、今日作業に入るわけですけれども、この1次選定というのは非常に数が多いもんですから、今一部意見がございましたように、どういう形であるのか、これも随分事務局の方で頭を悩まされたようでございます。</p> <p>附せんをつけてこれは残したいというようなさらりとした説明に終わりましたけども、具体的にどうするのかというもうちょっと細かい方法があったら、再度説明してもらって、それによって皆さんのご意見を聞くと。いや、それよかこれのがええでという意見もあろうかと</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
浅田（事務局）	<p>思います。</p> <p>どうぞ。</p> <p>それでは、選定委員の方につきましては、ありがとうございました。</p> <p>次に、選定の方法ですけれども、この後、体育館の方に行っていたいで、まず第1次の選定を行っていただくわけですけれども、右側の図面のように1から一応14の形で入れさせていただいております。ここに1人ずつ委員さん入っていただいて、14人並んでいただきますとそれぞれのところがずっと見られて、またずっと順返し見ていただくという形になろうかと思えます。</p> <p>一たんは、これをすべて834作品、恐らく各委員さん見て回られるのではないのかなというところがございます。そういった中で、どういう形で作品を絞り込んでいけばいいのかなということで、事務局の内部におきましても議論を重ねました。</p> <p>まず、一つの案といたしましては、その目印をつけるもの、委員さんお一人20とか30とかというポイント制にして、見て回られる中でそれをつけていくという方法があるかと思えます。それには当然重複するやつが出てくる可能性もございます。したがって、何点残るかということはなかなか難しいと思うんですけれども、そういうやり方で絞り込んでいく方法。その場合には先ほど多田委員さんからご意見がございましたように、そのマークのいわゆる趣旨、なぜこのマークに応募したんだという趣旨をやはり見ていただいて、理解していただくという時間がかかりますので、それを作品ごとにやっていきますと膨大な時間がまずかかってまいります。</p> <p>そういうところから、本日はまずずっとこの14のコーナーを見ていただいて、まず直感的に印をつけていただくと。それで、その1発目は、1つあって、Aさんという委員さんとBさんという委員さんが同じ思いがあっても、附せんが1つついておればその作品は残していくという形で消去していく。消去という言い方は大変失礼ですけれども、残していくという形にすればどうかと。それで、第1段階、一度それでやってみて、残った作品で、次は今度はポイント制にしてさらに絞り込んでいけばどうかというふうに思っておりますのでございます。</p> <p>ですから、最初からある程度委員さんお一人にポイントを何ぼか置くのか、最初はある程度残しておきたいものをずっと見て回って印をつけていくのか、その辺で少し形態が変わるんですけれども、その辺</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
立石（委員長）	<p>のやり方を少し協議いただければと思います。</p> <p>事務局といたしましては、834という作品が余りにも数が多いです。ポイント制にすれば時間がかかりかかります。初めに、1回目はとりあえず委員さんの思いで印をつけていただければ、相当の数は残りますけれども、時間的に絞り込んでいけるのは早いのかなというようなことで、今日体育館で、実は午前中並べた際にどういう方法が一番いいんだろうということですとずっと思案しておりました。という状況で、事務局としてもこれが一番いいという案はちょっと見当たらないんですけれども。</p> <p>なかなか数が多いもんですから、例えば今事務局案出したのは、まず初めは持ち点なしで、直感的に見てこれええな、これ残そうかという格好で一回り見て、後の2段階目は1人持ち点30点なら30点あるいは20点なら20点持たせて、残った部分に自分のええと思うやつに張っていこうかと、こういう方法ですね。それが1つと、初めから、例えば持ち点30枚とか50枚とかという附せんを渡しておいて、それを自分の思い一発で決めてまうという方法と、どうも2つのことが内容的に提案されたと思うんですね、そういうことでしょう。</p> <p>そういうことで、どっちがいいのかなということをひとつご検討いただきたいなど。</p> <p>ほかにもっと全く新しい方法があれば、それはそれなりに提案してください。</p> <p>いかがですか。</p> <p>どうぞ。</p>
浅田（事務局）	<p>一応14名の方の目印をつける印は違う色のものをすべて用意しておりますので、色はかぶることはないと思いますんで。</p>
立石（委員長）	<p>1段、2段構えでふるいにかけていくというやり方と、持ち点制にして30枚与えられた分、自分が一番ええと思うもんから30枚張って一発勝負かと、どっちがええのんかな、これはある程度感覚的な実験済みでっか。</p>
浅田（事務局）	<p>今日、実は午前中並べてみまして、やはり14列並んでるんですね。それを大体60枚ずばっと並んでますんで、これはいいなと、見ながらまた次へ行っても、やっぱりありますんで、ちょっとやはり最初は直感的に見ていただくのがいいのかなという思いはいたしました。それがいいとは限りませんが、やはり相当なスペースです。</p>
立石（委員長）	<p>どうぞ。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
上野（副会長）	<p>当然、合理的な物の考えということ言えば、例えばその直感的というのは非常に難しいと思うね。それで、合理的に考えていったら、例えば第1次選定で100点を仮に選ぶやとしたら、まず1筋が60点ずつですから、例えば10分の1で6点ずつ選んでいくやというて決めてた方が案外決めやすいんちゃうの。6点ずつずっと選んでいって、各委員さん14人の中で多いやつで100点選ぶようにしたら、結構簡単に公平に選べるかなと。でたためにするというのは案外難しい。ええところもあるんですけど、案外難しいところもあるから、だから1筋60点で10分の1の6点を各委員さんが選んでいって、例えばその多いもんばかりを100点とか、そういうふうにすれば割かし合理的なん違うかなと思いますけども。</p>
浅田（事務局）	委員長、1点だけ。
立石（委員長）	どうぞ。
浅田（事務局）	<p>済いません。まず、作品なんですけれども、6月1日以降の受け付け順にずっと、これは参考までに聞いていただきたいんですけど、入れております。それで、また見ていただいたらわかると思うんですけど、締め切り直前には全国からのプロ級が来とるんが多いんで、後ろの方が結構いいのんがそろっておるというふうに思います。すべて混ぜこぜにしておりません。受け付け順番に1番からずっと並べておりますんで、その辺がちょっとあるんでご理解いただきたいとします。</p> <p>それと、最初に834作品をお一人一作品を10秒見ていただくと、その趣旨なりを。しまして、834作品ですので、8,340秒かかると。</p>
立石（委員長）	2時間半。
浅田（事務局）	はい。いうところがあるんです。一度ずっと見ていただくだけでも結構時間とるん違うかなと思うんですけども。
立石（委員長）	<p>かつて経験をしたことのないような数の選定ですから、ちょっと皆戸惑うとんですが、いずれにしても作業に入らないけませんので、ひとつこの1次選定の方法についていかがなものでしょう。</p> <p>まず、事務局案で2段階方式か、事務局案の2段階方式、このことで皆さんどないですやろ。まず、一遍やってみよやないかと、これによろしいですか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
立石（委員長）	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、ちょっとびびらすような時間がかかるというふうな感じ</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
浅田（事務局） 立石（委員長） 浅田（事務局）	<p>がいたします。</p> <p>それで、恐れ入りますが、ここの案に書いてます2次、3次選定以降の具体的な取扱いについては、本日そこまで詰めよったらかなり時間が経過してしまいますので、まず第1段階、1次選定の本日の作業をやって、何ぼ残るんか、ちょっとわからんですけども、ほんな次回のときに2次選定以下のまた具体的な打ち合わせ、協議をしていただいてというふうにさせてもらいましょうか。それでよろしいですか。</p> <p>それで、1点だけ補足なんですけど。</p> <p>どうぞ。</p> <p>本日、上野町長の方から、香美町と、それから朝来のやつと説明いただいた資料ございますけれども、その後ろにお隣の多可町の方が決まりました。こちらの方で美術の先生が入られて、やはりこちらの方も1,370ほど集まって、私どもと同様に大きな体育館の方で広げられたという中で、やはり一番最初は直感的に第1印象が一番大切であるというふうなことを言われたというふうに確認をいたしております。それだけちょっと参考に。</p>
立石（委員長）	<p>それでは、もう一点だけ皆さんと協議して確認だけしときたいと思います。</p> <p>第1段階は直感的にふるいにかけていくと、それで残ったものに今度持ち点で附せんを張っていくという2段階方式で本日の作業を進めたいと、こういうことなんですけど、その2回目の2段階目の持ち点、附せんの持ち点、枚数、これはどれぐらいが適当なんでしょうかね。</p>
小寺委員 立石（委員長）	<p>実際に第1段階が終わってから考える。</p> <p>ほなら、もう現地で何枚にしまひょうぐらいな話でよろしいですか。よろしいですか、それで。</p> <p>ほいじゃあ、ちょっと本日途中でまた寄ってもろて、どのくらいに、何ぼに、半分に減るのか3分の1に減るのかわからんですけど、現地で協議をすると、こういうことにさせてもらいましょうか。それでよろしいですか。</p>
立石（委員長）	<p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p> <p>それでは、会議、けつ結ばずに何か済んだような感じはいたしますが、これは完全に決まるまで、1点最優秀賞が決まるまで継続しとりますので、今日は一時中断ということで。</p> <p>それと、現地済みましたら相当汗かくと思います。この場所へ再度帰ってもろて、5分間ほどちょっと汗ぬぐいをして、次の行動に移っていただくということにさせていただきたい。よろしくお願いしま</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
立石（委員長）	<p>す。</p> <p>午後 2 時 1 4 分 休憩 〔神崎中学校体育館にて第 1 次選考〕</p> <p>午後 3 時 5 0 分 再開</p> <p>それでは、会議を再開いたします。</p> <p>先ほどは精力的に選考していただきまして、思うたより早く終わりました。</p> <p>ここで正式の絞り込み数について事務局から発表していただきます。</p>
浅田（事務局）	<p>事務局。</p> <p>本当にありがとうございました。また、両町の職員の皆様方には、本当に業務ご多忙の中ありがとうございました。</p> <p>先ほどの選考の結果ですけれども、体育館に並べておりました総数 8 3 4、第 1 次選考で 1 3 9 に絞り込んでいただきました。そして、再度第 2 次ということで絞り込んでいただき、現在 7 4 候補残っておりますという現状でございます。</p>
立石（委員長）	<p>以上でございます。</p> <p>以上が結果でございます。</p> <p>本日の作業はこれで終わりにしたいわけでありましてけれども、次回の委員会について、いわゆる 2 次選定作業について若干協議をしておきたいなど、このように思います。</p>
浅田（事務局）	<p>現在、7 4 点残っておりますが、これを案によりますと 3 0 点程度ということだろうと思うんですが、事務局のひとつ考え方について案があれば、案というよりもこうやりたいなという方法について説明してください。</p> <p>それでは、本日 7 4 点まで絞り込みをいただきました。次回、何点まで絞り込むかというところでございますけれども、まず各委員さんの方に、本日絞り込みをいただきました 7 4 の作品につきましては、印刷をいたしまして配付をまずさせていただくということをご確認いただきたいと思います。少し時間かかりますけれども、印刷をして各委員さんの方に配付をさせていただきます。</p> <p>そして、次回の選定におきましては、できましたら 3 0 作品ぐらいを第 1 段階としてまず選定をいただきたいなというふうに思っております。</p> <p>そして、それ以降、3 0 からもう少し絞り込んでいただき、1 0 作品程度まで当日絞り込みをいただければなというふうに考えておりま</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
立石（委員長）	<p>す。その時点での、例えば委員さん1人の持ち点何ポイントにするかとか、そういったことにつきましてはひとつご協議をいただきまして、10作品ほど最終的に残りましたら、その時点で一度美術の専門家といいますが、先生とかそういう形で少し見ていただいて、最終の合併協議会に提出をいたしますノミネート作品を現時点5作品と上げておりますけれども、こちらの方まで絞り込んでいただければなというふうに思っております。それを1回にしてしまうのか、2回に分けるのかということも問題ありますけれども、本日の皆様方のいろんな精力的な作業を見させていただきますと、次回ぐらいで10作品ぐらいまで絞り込めるのかなという思いはいたしております。</p> <p>それと、合併協に5作品ということで予定をさせていただいております、予算の方も類似の調査をする関係で1作品8万円の40万円ということで合併協議会の方でご承認をいただいておりますところでございますけれども、本日、資料の後ろの方に、去る7月の下旬に豊岡市の方で出ました市章が盗作に近いということで話題を呼びまして、新たにかえられたと、披露までされた上でかえられたというようなケースもございますので、今回の場合5作品すべてが最優秀賞、それから佳作といいますが、優秀賞ということで4作品になりますので、その優秀賞の4作品が一つでもだめだという場合には、また新たなものを持ってくる必要がございますので、できましたら、少し経費の方がかかりますけれども、次点という形で5作品を6か7ぐらいまでできないかなということも、事務局としては少し豊岡の例を交えながら案として持っておりますので、そのあたりも少し、委員長、ご協議をいただければというふうに思います。</p> <p>以上です。</p> <p>今説明がありましたように、この案で言いますと、実はこの1次選定、2次選定というステップが2つあわせて今日一遍に済んでしまったというところまで作業能率上がってます。したがって、次の回の委員会におきましてはまず30点選ぶと、それからその30点の中からさらに10点に絞り込むというのが、次回の大体会議の要領ではないかというふうに思います。</p> <p>事務局、そういう考えでよろしいですな。</p> <p>こういうことについて、皆さんご異議ございませんか。よろしいですか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
立石（委員長）	<p>ほいで、事前に配付されるということですから、ここでご確認をい</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>ただきたいんですが、当日自分でじっくりと検討していただいて、持ち点をここに書いておりますように5点ということによろしいですか。74件から5点持ってくる、検討しておくということなんです。そうですね、これの案でいくとね、案はね。</p> <p>これによろしいですか。いや、もっと多うしてほしいんやというようなご意見ありませんか。</p>
小寺委員	30にするんや。
立石(委員長)	30。
小寺委員	30にするんやったら5点ではちょっとしんどいな。
立石(委員長)	あ、そう。
小寺委員	<p>いうことは半分にするんやな、74のが。30から10にするんやったら5点でええやろね。今度、2回するということになるんやろ。10点に。2段階。</p>
立石(委員長)	<p>そうそうそうそうそう、2段階で10点に絞り込むということですか。だから、1回目の絞り込みで、5点でいいのか、あるいは今出とる意見は10点程度というような考えですか。</p> <p>いかがなものでしょう。ほかの方、ご意見ございませんか。</p> <p>次の段階の絞り込みは10点欲しいんやということでしたら、それでもええんですけどね。</p>
小寺委員	<p>10点ほどとりあえず絞り込みね、1人。それで、番号で多分投票するんやろうから、上から30なら30点とってええような気がするね。</p> <p>それと、各委員にもらうんに、できれば応募者の氏名はちょっと削除せないかもしかもしれんね。町名のときも名前は全部消したやつで内容を確認してということで、町章の場合もやっぱり住所、名前が書いてあるとちょっとという気もするんで、最終的にはじっくり見るときには住所、氏名はできれば削除してもうた方が、公平にデザインと、それから考え方とを見させてもろうて選べると思うんやね。</p>
立石(委員長)	<p>今、ああいう要望が出ております。2つ目の要望の氏名を伏せるというのは、実は今回も私方からは、できたら伏せたままデザインと理由だけをしたらどうやということは、何せ膨大な量やったもんで、そこまで手が回らなんだというのが事実でございます。今、要望がありましたように、今度は目隠しをして、デザインとそれから理由と、これが見えるようにして、できて、配っていただいたらありがたいというふうに思います。</p> <p>皆さん、それについて特にご異議ございませんな。よろしいです</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
立石（委員長）	<p>か。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p> <p>それじゃ、今度配付するときそのように配慮してほしいと思います。</p>
立石（委員長）	<p>それでは、1回目の選考、次回の1回目の選考について10点手持ちという意見が出ております。このことについて皆さんご異議ございませんか。よろしいですか。よろしいですね。よろしいですか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
立石（委員長）	<p>ほいじゃ、特に異議もないようでございますんで、1回目の投票は1人手持ち10点ということは、7点に1つぐらいの割やな。そういうことですな。ほいで、第1段階のふるいにかけて、ほいで10点に絞り込みの段階は1人持ち点5点でよろしいですな。よろしいですな。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
立石（委員長）	<p>それでは、一応次回の選考要領の大綱を決めていただきました。これによってひとつ事務局、そのような手配をお願いしたいと思います。</p> <p>それ以降のことについては、次回のときに、さらに専門家を入れること等については、皆さんにご協議をいただき、事務局案をもって協議をいただくと、実はまだだれというような特定がされておらんようですから、その段階にひとつ回していただきたいなと、このように思うわけなんです、それでよろしいですか。よろしいですか。</p>
立石（委員長）	<p>そこらをどういうふうにする。</p>
多田委員	<p>そこら、結局、次回では5点に絞ってしまうと、絞ってしまうようなことを、皆さんに、とれたんですけども。</p>
小寺委員	<p>10点までやろう。</p>
立石（委員長）	<p>次回は10点までです。</p>
小寺委員	<p>その次から専門家に入ってもらっちゃろう。</p>
立石（委員長）	<p>そうそうそうそう、そうそうそうそう。</p>
小寺委員	<p>10点入ってるわ。</p>
立石（委員長）	<p>予定としてはそういう思いですな。そういうことですな。</p> <p>だから、もう一回繰り返します。次回は10点まで絞り込む作業をさせていただく。その場合の要領は10点、5点の手持ちで投票して票数の多いところから採用していくと、こういう方法でいきたいと思えます。</p> <p>これで、本日の大体協議をいただくことは済んだわけなんです、</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
浅田（事務局）	<p>次回の開催時期等についてひとつ事務局の方からお諮りをしたいということですので、事務局どうぞ。</p> <p>第3回の新町の町章選定委員会の開催日程でございます。</p> <p>先ほど絞り込みをいただき、今回印刷をして各委員さんに配付をさせていただきます。少し時間を見ながら、この日がいいという日程までは、現時点で案を持っておりませんが、ある程度印刷ができて配付をし、それから少し余裕の時間を見て委員長とご相談をさせていただきます、日程を調整するというふうに考えておるところでございます。</p> <p>したがいまして、目標は8月末までにという目標を持っておりますので、途中お盆を挟みますけれども、8月末までにはこの小委員会の方で合併協にノミネートする作品を決定をしていきたいというふうに考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>なお、類似の業者の方への調査委託には、やはり2週間ほど最低かかるということをお聞ひしておりますので、できるだけ事務処理の方もスムーズにできますように対応したいと思ひますので、日程等十分な調整をしながら、早期に詰めていきたいと思ひますので、暑いときではございますが何とぞよろしくお願ひ申し上げたいと思ひます。</p> <p>以上です。</p>
立石（委員長）	<p>次回開催は8月末までにということでございますので、ひとつそのつもりでお願ひしたいと思ひます。</p> <p>配付資料はできるだけ早く手元に届くようになんぞお願ひしたい。大体予定としてどれくらい。いつごろ配る。</p>
浅田（事務局）	<p>皆さん方の方への今回の74作品は1週間程度、少しお時間をいただきたいというふうにお願ひしますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。7月末ぐらゐまでには何とぞお手元に届くようにしますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
立石（委員長）	<p>そういうことでございます。</p> <p>特に、この際皆さんの方から何かご意見、要望、ありましたら、どうぞ遠慮なく。ございませぬか。</p> <p>どうぞ、足立委員。</p>
足立委員	<p>ちょっとだけ聞きたいんですけど、この豊岡は業者に見てもらった上での問題が浮上したの。</p>
立石（委員長）	<p>どうぞ。</p>
浅田（事務局）	<p>確認はいたしてございませぬが、私ども合併協の方で予算の方をさせていただきますように、他の合併協でもほとんどやはりこの類似の調査をされておりますので、豊岡の方でもされておるとは思ひます</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
立石（委員長）	<p>が、こういったことが出ましたので、やはり私も業者に委託をしてやるということが、やはり後々こういうふうなマスコミの記事にならないように十分な手続をしたいというふうに考えております。</p> <p>恐らくされておるとは思いますけれども、それぐらいの情報しかちょっと持っておりません。</p> <p>いい質問をしていただきました。実はそのことの押さえがまだ済んでまへんでしたね。そんなことで、大事をとって5点プラス1ないし2、7点程度をいわゆる全国調査に回したいと。したがって、お金もかかるということでございますが、協議会をやったらええやないかという、予算に関係することですから、それはそれなりにまた合併協の本体会議の中で経過報告をしていただくと。委員会としては、そのことについて了解をしたという程度の合意しか得られないと私は思うんですが、皆さん、その扱いについて特にご異議ございませんか。よろしいですか。</p> <p>どうぞ。</p>
多田委員	<p>神崎町の多田ですけど、賞品に、優秀賞、最優秀賞についても予算は10万円じゃなかったですか。</p>
小寺委員	<p>補正した。</p>
多田委員	<p>当然その予算は補正を。</p>
小寺委員	<p>補正した。</p>
多田委員	<p>20万円なった。10万円で出とったん違うん。それ、24万円。</p>
立石（委員長）	<p>いや、当初予算は少なかったんやけどね、この委員会で決定していただいて20万円、2万円、2万円やったかな、なりましたね。</p>
小寺委員	<p>補正したんですよ。</p>
多田委員	<p>そやったら、当然必要な分。</p>
立石（委員長）	<p>ほな、皆さん、そういうことで当委員会としてはやむを得ないことやから了承したと、こういう扱いでひとつよろしいですか。余り皆、もう力入ってへんな。</p> <p>ほいじゃあ、締めくくります。</p> <p>事務局から提案ありました2件追加して、調査に2件を加えると、当然費用もかかるけれども、ひとつ了解をいただきたい、当委員会としてはやむを得ないなという結論にしたいと思います。そういうことでよろしいですな。</p>
立石（委員長）	<p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、本日予定をいたしておりましたすべての協議事項、作業</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>が終了いたしました。</p> <p>本当に暑いところをご苦労さんでございました。あと二回、三回ぐらいはやらないかんと思うんですが、何せ何十年にあるかないかの歴史的な仕事でございますので、皆さんひとつ自信を持って、誇りを持ってこれからもよろしくお願いします。</p> <p>本日はどうもご苦労さんでした。</p>